

留学生と語り合う No. 57

RKK ニュース (2014 年秋号)

NPO 法人 留学生と語り合う会 (RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace

「日本語の教え方講習会」開講にあたって

日本語指導グループ 古谷 清子



恒例の日本語の教え方講習会が、約 50 人の参加者の下、10 月 4 日から 11 月 29 日まで 5 回に亘って開催されています。

私は 2009 年頃に受講し、全日出席しましたが、終了した段階では母語であるにも拘わらず、教えることには全く自信が持てませんでした。それ

でも日本語を外国語として捉える河島先生の視点とはとても新鮮で、日本語の奥深さを感じたものです。

10 回の講習ではとても足りないと感じました。私には 10 回でも短く感じた講習会ですが、今回は散えて半分には短縮しました。理由は、会場を確保することの難しさに加え、忙しい現代人の生活からは、10 回は長すぎるのではとの意見が多かったためです。

不足分は来年 2 月のブラッシュアップ講習会で補足することになりました。また、タイトルも「日本語指導法」から「日本語の教え方」と、よりなじみ易い表現に変えました。

外国人にどう向き合い、どう教えたらよいのか、河島先生にそのエッセンスを伝授していただけます。受講後は一人でも多くの方が、ボランティアとして留学生の日本語学習支援に参加して下さることを願っています。

Opening of the Course "How to teach Japanese"

Kiyoko Furuya
Group staff of Japanese language instructor

The new RKK lecture course "How to teach Japanese" made up of five lectures, has started from October 4 to November 29 with about 50 participants.

I finished the ten days course in 2009, but did not get confident in teaching Japanese at all. The viewpoint of Professor Y. Kawashima who regards Japanese as a foreign language is very fresh, and makes me feel deeply for the Japanese language.

The ten days course seemed to be really insufficient and I felt that the course time length was too short to be able to get sufficient knowledge. We, however, considered the facts that attending the whole ten days course is very difficult for many participants and to reserve a room ten times without breaks in Kenmin Center is nearly impossible recently. Then, we went ahead and shortened the length of the course from ten to five days.

The RKK brush up class is held every year. We will have this class in February next year. So attending this class is requested for further study. The name of the lecture course was changed into more familiar one such as "How to teach Japanese" from "Japanese teaching method".

Prof. Y. Kawashima will tell you how to behave as a Japanese language instructor when you teach international students. She will show the essence of teaching skills to you.

I expect that many of you will join our group and step up your career in actual teaching scene after finishing this course.

お知らせ

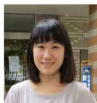
<p>にほんごスピーチ大会 & 文化祭 RKK日本語スピーチ大会 & 文化祭 開催日：11月23日(日、祝日) ばしょ：かながわ県民センター30会議室 プログラム： 午前の部 日本語のスピーチ発表 9:30~ 講評と交流会 午後の部 日本および外国の文化の 13:30~ 紹介と体験</p>	<p>あき 散策 秋の散策 見学先：浜離宮恩賜庭園(新橋) ・鉄道歴史展示室(新橋) 見学日：11月30日(日) 集合場所：JR新橋駅 鳥森口改札口 集合：時刻 12時30分まで</p>	<p>こうじょう 企業見学会 工場・企業見学会 見学先：崎陽軒(横浜工場) ・セブン&7I 伊藤研修センター 見学日：12月24日(水) 集合場所：JR新橋駅 横浜線 北口改札口前ロビー 集合時刻：9時45分まで</p>
---	---	--

詳細は、ホームページまたは案内チラシを参照ねがいます。

とうしばみらいかがくかん Knorrしよくひん たず 東芝未来科学館とクノール食品を訪ねて

Paveena Lalitnoraset/Pawinaer ラリットノラセット (タイ) Kingdom of Thailand

とうきょうこうぎょうだいがくいん
東京工業大学大学院



世界的に有名な企業である東芝と、又、同様に日本
で有名なクノール食品を初めて見学することができま
した。説明方法が面白く、また、色々と変化にとんだ
ものごとを勉強することができました。
最初に東芝未来科学館に着いたところ、暑い日に関
わらず、もうすでに多くの親子連れが並んでいました。



中に入ると、過去、現在、未来にわたる技術革新を順番に観察することができました。技術経営を専攻している
私にとっては、素晴らしい学習の機会でありました。特に、私が生まれる前に発明された色々な展示品、例えば、
電気なしで動ける人形や、からくり時計などに感動しました。ほとんどの展示品は独創的なもので、他の所では見
られない物が多かったです。その他のセクションでは、どのような技術革新が将来可能になるかをイメージさせ
てくれる展示品がたくさんありました。

クノール食品では、どのように原料を加工して製品を完成させるか、ま
で説明して頂きました。工場の生産ラインの一部を見られることに感動
しました。ところが工場の中では撮影禁止だったため、帰って友達に写真を
見せられないことが残念でした。生産方法の見学が終わったらクノール食品
のインスタントスープを試食する機会が与えられました。それはクノール食
品のお出迎えとお見送りと共に、優しい待遇であるように思われます。



今回の工場見学が、RKKのおかげで素晴らしい経験になりました。すべてのRKK会員が優しく私たちの
世話をして下さいました。東芝未来科学館とクノール食品の両方とも非常に興味深い体験ができました。この
チャンスを頂き、心から感謝しております。(原文のまま)

【RKK 社会・工場見学G報告】

8月5日盛夏の中、皆様には暑い中の見学会だったと思います。見学先は上記のパウイナーさん報告のとおりで
あります。JR川崎駅近くの東芝未来科学館から武蔵小杉のクノール食品の工場まで足を延ばしました。当日の参加
人数は20人でした。クノール食品ではお土産をいただきました。(深水 記)

留学生からのたより

こくさいじん めざ えいこく べんきょうちゅう
国際人を目指して英国で勉強中です

王丹 (中国 元留学生)



私は、両親から常にチャレンジすることの大切さを幼少の頃から教えられてきたこと
もあって、小学校から英語を学び、大学から日本語も自学し、将来はグローバルに活躍
したいと考えていました。そこで、大学を卒業して、奨学金をもらって、三年間日本の
大学に留学しました。二年目からRKKに入り、交流イベントに参加したり、工場見学を
したりして、有意義な留学生生活を過ごしました。

RKKによって得られるものは、日本語がうまく話せること以上に、もっと大事なものが
たくさんあります。それに日本人と出会い、お互いの国について話すことは楽しかった。

長期間に渡って母国を離れるからこそわかる中国の魅力、また日本から中国はどう見られているのかなどといったことも知ることができますし、中国にはない日本ならではのものも一層よく分かります。

この素晴らしい留学という体験を、いい思い出で終わらせてしまうのではなく、これからの自分の人生において生かしていきたいです。そこで、帰国後、中国での弁護士資格を取得し、ロンドンで就職活動をしています。弁護士事務所その他、法務を武器にグローバルに展開する企業を中心に応募しているところです。最後に、有意義な留学実現にあたり関わった、RKKの人たちには感謝しています。日本語を忘れずに、日本を忘れずに、国際人としての一歩を踏み出したいです。

Impression about Japan

Arifá Iffat Zerín (Bangladesh) 横浜国立大学大学院



For the first time, I saw the coast of Japan, dazzling with the golden sunbeams emitting from the rising sun, from the aircraft approaching towards the land of sunrise. The shining shoreline made me comprehend that I would be experienced with a new culture and society which would surely enrich my insights. Consequently, when I kept my steps in Japan, I was surprised with the wonderful politeness of the Japanese people with the reflection of simplicity of thoughts in every single services and infrastructures here. For instance, comparing with some other countries I visited, due to simplified plans and instructions in transportation infrastructures like airport or railway stations in Japan, a tourist with common perceptions can comfortably move around alone. Along with, while I faced any difficulties to find my ways, I experienced the sincere supports from the gentle native passersby.

Having lived in Japan for more than one year, I learnt about their well structured administrative systems even in the grass root levels, and their initiatives for social welfare as well as social development can be an example to worldwide. Although the Japanese are polite in nature, in case of implementation of laws and regulations, I found them incredibly strict and concrete. The most impressive strategy of Japanese I studied from 'the development history of Japan' is that, at the beginning of Meiji era, although Japan had acquired knowledge and technologies from the Western countries, in no time, the quick learner and hard working Japanese people enriched their own capacities by adopting and enhancing technological knowledge by themselves according to their own perspectives, diminishing the dependency on foreign consultants. In true sense, Japanese cultural etiquettes and their unique development practices are praise worthy in the world.

地区からのたより

じもと こくさいこうりゅうだんたい まね 地元の国際交流団体に招かれて



7月末の土曜、神奈川県で外国籍の子供の学習支援活動を行っているボランティア団体、「神奈川県国際協カネットワーク」から、「夏休みお楽しみ会」へのお招きがあり、RKKの留学生二人と岩科が参加しました。お楽しみの目玉はモビール作りで、最初一人一人がデザインを決めて必要な折り紙や糸等をそろえ、一定の時間内で完成させるのです。日本語は殆ど出来ないが、英語は上手なアフリカからの留学生が、やはり日本語は分からないが英語は出来るというフィリピン父子に説明してあげたり、中国女性留学生が、中国人少女と

中国語で楽しそうに話しながら作業したりとなごやかな交流が繰り広げられました。お菓子をつまみながら、出来上がった作品を披露しましたが、モビールはバランスが取れていないと形になりません。外国籍の子供も留学生も、日本と母国の間で上手にバランスを取りながら、国際親善につくしてくれるだろうと思われたひと時でした。(中央地区 岩科記)

私の日本語指導

あ わか はじ
会うは別れの始め

北地区 松井 直子



私がRKKで本格的に活動を始めたのは2年前です。私の初めての生徒さんは中国の内モンゴル出身の馬妍さんという方で横浜国大の修士課程に在学されて社会科学を学び、現在は中国に帰国されて、大連の日系企業で働いていらっしゃいます。彼女は大学では日本語を専攻していましたので、日本語は堪能で日常生活ではまず不自由はないだろうと思いましたが、社会科学系のレポートや論文の書き方は不慣れな面もあり、それを中心に日本語指導を進めました。回を重ねるにつれ、テーマによっては時には意見交換をする場面もあり、お互いにそれがとても良い国際理解の機会になりました。卒業論文のテーマを決め、その資料を集め、まとめるまでの苦悩の日々を共に過ごす事ができ幸甚でした。ですが、秋も半ばを過ぎた頃から日本で就職したいという気持ちになった事を聞き、私は一瞬戸惑いました。エントリーシートの書き方や面接の受け方など今までの体験をいかしたアドバイスはしたものの、結局就職は決まらず、私も具体的な手立てはできないまま、彼女は本国に帰国する事になりました。「逢うは別れの始め」という言葉を改めて身に沁み、彼女に「国に帰ったら必ずいい事がある」と勇氣づけ涙の別れをしました。彼女の希望でその時に行った所が黒雅叙園の百段羅飾りです。その後本国で就職が決まったというたよりがあり、私もほっとしました。日本への留学生との出会いは必ず別れがありますが、若い頃に過ごした日本での思い出はきっと心のどこかに残っているものと思います。また、美しい出会いを求めて頑張ります。

文化交流

piano えんそう かんしやう
王盛氏のピアノ演奏を鑑賞して

にっちゅうぶんかこうりゆう どくそうおんがくのかい
(日中文化交流 王盛ピアノ独奏音楽会)



8月10日、横浜アートホール(保土ヶ谷)で、日中文化友好として、標記の音楽会が開催されました。当日は雨模様でしたが、横浜地区中国留学生学友会からの招待により、RKKからも多くの皆さんが鑑賞されました。

演奏プログラムは、王盛氏(横浜国大客員研究員)のピアノ独奏では、中国作曲家やショパン、モーツァルト、ラフマニノフなどのクラシック等9曲、その中には、王盛氏自身の作曲(砂漠)峡北民歌主題変奏曲(周広仁作曲)

等があり、それらは新鮮なものでした。さらに、横浜国立大学研究員による中国歌曲および同じ日本人学生による日本歌曲の独唱もあり、私共、鑑賞者も喜ぶ、文化交流の場でありました。親賓には日中友好団体の皆さんも参加されましたが、観客約50人中、半数以上はRKKの会員とその関係者で、RKKの皆さんの留学生との交流と支援への気持ちを強く感じました。(深水 記)



よこはまこう cr u i s i n g たの 横浜港のクルージングを楽しみました

レディシア・サンデラ (インドネシア パリ島)
Ferris University 国際交流学科
フェリス学院大学 国際交流学科



横浜の2014年度国際クルーズに参加できて良かったと思います。クルーズしたことの感想は本当に素晴らしい経験だったと思います。RKKの先生がたは私を誘っていただき、ありがとうございます。RKKの先生がたのおかげでこの活動に参加できました。杉田先生は最初から最後まで様々なことを手伝っていただき、ありがとうございました。船の中に国々からきた人々と友達になりました。パリに行ったことある日本人がたくさんいるし、インドネシア語を話せる日本人もたくさんいるので吃驚しました。パリの伝統的な踊りをすることができる日本人もいるので、信じられなかったです。船の中で彼女はパ

リの踊りをやってくれる時に、彼女を見たとき、少し涙があふれてきました。すごかったです。パリのことをしっかり知っているなら、私はとても喜びます。

この活動のおかげで新しい友達がたくさんできました。皆が優しく、様々なことを話しながら、景色をみました。夕方にきれいな太陽が出てきて、いっぱい写真を撮りました。海を見ると、すぐパリの海を思い出しました。雰囲気似ているので、少し懐かしくなりました。その時に遊ぶことだけではなくて、日本のクルーズのシステムについて分かるようになりました。また、新しい友達から日本の歴史も学べました。最後まできれいな景色を楽しめて、幸せな時間を過ごしました。皆さんのご親切をとてもありがたいと思います。(原文のまま)



私と中国語

中国語学習グループ 澤口昌弘



私と中国語の出会いは今から14年前にPhilippines 随一のリゾート地・観光地でもあるCebu島に単身赴任した時が始まりです。風光明媚なCebu島は年間を通して平均気温が26~28℃、物価が安く、対日関係も良く、暑さ対策さえ怠らなければ、住みやすい街のひとつです。中国から華僑として渡ってきた人々の子孫が政治、経済の中核をなしている。街中には中国料理店も多く、Xmas、新年時には中国伝来の爆竹が鳴り響き、一瞬中国に住んでいる様な錯覚を覚えます。日常食べているフィリピン料理にも、中国料理をアレンジした料理が並びます。街を歩けば、スペイン系、インド系、ポリネシア系、韓国系、中国系等と人種のつぼです。公用語は英語ですが、日常的にはセブアノ語が主流でそれにタガログ語(フィリピン語)が加わります。4年半の赴任中に良く通ったところは焼肉屋、日本料理屋、その次に多かったのは中国料理店でした。料理の店 Menu は英語表記ですが、中国語も使えます。多くの中国系のフィリピーノが食事に来ておりましたが、英語とセブアノ語中心の中で、中国語が飛び交う雰囲気に驚かされました。異国で聴いたこの中国語こそが、小生の中国学習の原点となりました。帰国後、何年か過ぎ、友人の勧めもあり、中国語 GR に参加することに至りました。現在毎週土曜日～県民センターで鄭先生を中心に12名の仲間と共に楽しい、生の中国語を学んでおります。鄭先生の前任の先生である除先生がよく語っていた言葉を思い出します。除先生曰く：皆さん一日8時間中国語を勉強してみてください。中国語がすぐ上手になりますよ。この言葉を脳裏に焼き付け～中国語の学習に励んでおります。中国語に興味のある方は是非講義中の教室を覗いてみてください。Something New が貴方を待っています。日々是好日

・小生は現在、趣味の『水族館70選(残り20館)+植物園30園=併せて100選』に挑戦中(終身)～興味のある方は右記へ remurd.dr@iilac.ocn.ne.jp

RKKロゴマークの制定について

2014年10月
RKK理事長

このたびRKK設立15周年を機にロゴマークを制定いたしました。下図がこのたび制定しましたRKKのロゴマークであります。ロゴマークを日本語スピーチ大会、文化祭、見学会等イベントの標識、さらにRKKニュース、各種案内書等へのロゴマーク表示に利用することによって、RKKのアピール効果を増すことが大いに期待されます。皆様のご活用をお願い申し上げます。



RKK ロゴマーク

このロゴマークは、『人と人との出会い、交流をイメージ化し、赤は日本、緑は世界を表し、かつ、RKKの文字は海をイメージしたオーシャンブルーにしたもの』であって、RKKのコンセプトを示しています。応募された多くのロゴマーク図案を選定会議で審議し、それを受けて臨時理事会で、さらに慎重に検討し、採択したものであります。ロゴマークの制定に当たっては、ロゴマークの応募をいただいた皆様、ロゴマーク選定会議で審議いただいた委員の方々、多くの会員のご協力に心より御礼申し上げます。

おもな活動(2014/8 から 2014/10 まで)

理事会

- ◇8/24 サポートセンターR704にて、新役員による第2回定例理事会が開かれ、2014年度の事業計画の具体的アクションについて協議された。

スタッフミーティング

- ◇9/28 午後、サポートセンターR604にて20人のスタッフの参加のもと、2014年度第2回スタッフミーティングが行われ、恒例の活動グループ、地区交流会、委員会それぞれからC&C(報告・連絡そして相談)を実施した。またディスカッションタイムは、11月に予定している「RKK日本語スピーチ大会&文化祭」の内容や運営につき、意見交換をした。

活動グループ

- ◇日本語指導G:日本語の教え方講習会全5回が10/4から始まる。スピーチ大会の発表者の募集。
- ◇ファミリー交流G:11/23予定の文化祭の準備。
- ◇中国語学習G:9/6から新たな期に入り、11人のメンバーが受講中。
- ◇社会・工場見学G:11/30秋の散策(浜離宮)12/24崎陽軒工場見学を企画中。

地区交流会

- ◇東地区:10月に新入会員歓迎会を兼ねた交流会を計画中。
- ◇西地区:7/27に16人が参加し、地区交流会と暑気払いを実施。
- ◇南地区:9/7に地区交流会を実施。10/12中区区民祭にてRKKをPR。
- ◇北地区:7/19に地区交流会を実施。国際研修センター主催の写真展に参加。
- ◇中央地区:9/21にKANAFANステーションで交流会を実施。横国大峰沢祭、羽沢祭でPRチラシ配布。
- ◇湘南地区:9/13に新入会員を含め11人が参加した交流会を実施。

委員会

- ◇会員委員会:9/28マッチング検討会を実施。リクルート推進策の検討。
- ◇広報委員会:RKKニュース57号の編集。ホームページは秋のイメージに更新。
- ◇企画委員会:10月末に助成事業、寄付・賛助金について検討予定。
- ◇会計委員会:収支決算・事業計画予算作成。
- ◇事務室:理事会・スタッフミーティング開催準備、会員委員会サポート活動。

トピックス

「留学生就職支援研修会」に参加



8月29日に開催された、かながわ国際ファンクラブ主催の「外国人留学生の就職事情を聞く」の研修会に、RKK役員およびスタッフ総勢14人が参加いたしました。講師の藤橋KANAFAN次長、田口NAP代表理事から、ご体験に基づいたわかりやすいご説明をいただきました。RKKでは、「留学生への就職支援」が本年の課題の一つであり、その対応への第一ステップとしての実のある勉強会でした。（萩原 記）

研修センターの写真展で入賞



神奈川県国際研修センターの恒例の写真展は、留学生と関係支援団体、地域住民との交流のための行事ですが、今年も7月から8月にかけて、テーマ「ありがとう」及び「外国写真集」として開催されました。

今回RKKより北地区山口、宮丸両会員が展覧され、65作品中見事にそれぞれ2位、4位入賞となりました。（岩永 記）

横浜国大『観月の会』に参加して



横浜国大で毎年恒例の「観月の会」（学長主催）が10月2日（夕方）に開催されました。これは留学生、外国人研究者を対象にしたもので、大学による留学生等へのおもてなしのイベントでした。お招きを受け、山崎副理事長共々参加いたしました。

参加者は留学生等を主客とし、大学関係者、RKKのような留学生等の支援団体（約10団体）が参加し、その中には私が初めて名前を聞いた団体もありました。参加者総勢は約350人、もちろん、半数をはるかに超える留学生等が参加しており、その留学生等の出身国は、

印象として、私共が日常、接触するよりも非常にバラシティに富んでおりました。通常、私共とコンタクトが比較的少ない韓国の留学生と話す機会があり、少し時間をとって話し込んだものです。

イベントでは、写真に見られるとおり、留学生の音楽や踊り等パフォーマンスが披露され、会場は非常に盛り上がり楽しいひと時でした。（深水 記）

*写真は横浜国大の御提供

新入正会員のみなさまへ：よろしくお祈りします！

入会正会員：畔取孝（旭区）、村井延行（東京都）、藤井勉（秦野市）
上林洋子（藤沢市）、畑泰之（港南区）、川本真梨子（鎌倉市）

賛助会員のみなさまへ：ご支援ありがとうございました。

賛助会員：小久保佐恵子、杉田あずさ（敬称略）

留学生の皆さんへ／For International Students

ボランティアの日本語個人指導を受けてみませんか！

Let's join one-to-one Japanese language teaching program by volunteers.

- ・ 日常会話（Daily Conversation） ・ ビジネス会話（Business Conversation）
- ・ 卒論、レポートの文書指導（Writing Japanese Theses & Reports）
- ・ 新聞／書籍等の読解（Reading Newspaper & Books）
- ・ 日本語能力試験（Japanese Language Proficiency Test）
- ・ 就職活動（Job Hunting ・ Entry sheets/Interviews）

工場／研究所見学、各種文化交流イベントも楽しみましょう。

Enjoy visiting plants/ laboratories and participating in various cultural exchanges.

連絡先(Contact): 津田(Tsuda) e-mail sakura_tsudakei@ybb.ne.jp

Home Page : <http://homepage3.nifty.com/rkk/> [RKK NPO](#) [🔍](#) 検索/Search

会員募集中

RKK 活動に興味をお持ちの方は、会報や最近の行事案内などをホームページでご覧になれます。

入会フォームはホームページ「入会案内」から入手できます。

詳しくは、Home Page (Web Site) [RKK NPO](#) [🔍](#) で検索してください。

横浜夢ファンドのご案内

横浜市にはボランティア団体の活動支援を目的とした“よこはま夢ファンド”の制度があることをご存知でしょうか。本ファンドへの寄付を通じてRKKの活動を支援して頂けます。ご協力をお願いします。詳細は [よこはま夢ファンド](#) [🔍](#) で検索してください。 (企画委員会)

とつかお結び広場に出演します

RKKは標記イベントに出演します。ぜひお出かけ下さい。
日時：2014年12月7日(日) 10:00-16:00
場所：戸塚区総合庁舎 3F 区民広場等、

詳しくは [とつかお結び広場](#) [🔍](#) でご覧ください。

広報委員会から RKK 会員へのお願い！

RKKニュースを年4回発行していますが、編集を担当して頂く方を求めています。ご応募をお待ちしています。

応募先 e-mail : ni_ssan100@yahoo.co.jp (西岡)

NPO 法人 留学生と語り合う会

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKK 連絡先：〒245-0008 横浜市泉区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦

Eメール：rkk1025office@yahoo.co.jp Tel & Fax: 045-813-8327

ホームページ：<http://homepage3.nifty.com/rkk/>

RKK ニュース編集：RKK 広報委員会 秋号担当 村田威雄 Oct. 23, 2014